

仕 様 書

- | | | |
|---|---------------------|---|
| 1 | 品名 | 水道（下水道）使用水量等のお知らせ（検針票） |
| 2 | 印刷部数 | 12,405 巻（1 巻 150 枚、計 1,860,750 枚） |
| 3 | プリンタ
機種 | <u>モバイルプリンター MP-B30-B02JK1-E9 セイコーインスツル</u>
（上記機種に対応できること） |
| 4 | 規格 | |
| | （1）大きさ | 1 枚当たり 縦（190.5 mm）、横（79.5 mm） |
| | （2）用紙区分 | ・紙質 高保存感熱紙
（ <u>モバイルプリンター MP-B30-B02JK1-E9 セイコーイン
スツルに対応できること</u> ）
・紙厚 65 μ m
・孔 無
・再生紙 不可
・形態 ロール式（コアなし）
コア外径： Φ 8 mm 以上、ロール外径： Φ 51 mm 以下
巻きズレが生じないようにすること。
・セット間ミシン カット：タイ＝1.0 mm：0.4～0.6 mm
・コーナーカット 無
・その他 <u>オーバーコート（撥水加工処理）</u> 耐水紙でないこと |
| | （3）刷り色 | 表刷り 3 色（青、赤、黒（ <u>検出マーク</u> ））、裏刷り 1 色（青） |
| | （4）地色 | 白色 |
| | （5）地紋 | 無 |
| | （6）インク | ①インク
・インクの材質については、耐熱性があり、かつ減熱作用が無いものを使用すること。なお、非感熱紙面も同様のインクを使用すること。
・インクが紙に密着していることを確認すること。また、一般的に UV インクは水まけしやすいため、湿し水の管理には注意を払うこと。
・インクの転写、ブロッキングが無いようにすること。
・プレプリントは水、アルコール等で剥げないようにすること。
・検出マーク以外の部分の濃さについて、マーク検出に干渉しないよう留意すること。
②表面検出マーク（タイミングマーク）の印刷濃度
・マークは黒色とし、濃さは、反射率 6 % 以下（波長 905nm の赤外線の場合）とすること。なお、マークは油性インクを使用し、濃淡が無いようにすること。
（重ね刷りを推奨） |
| | （7）検出
マーク
の位置 | 別紙「検出マークについて」参照
なお、マーク検出しきい値は工場出荷時設定より変更なし。 |
| | （8）その他 | ・ニアエンド（1 巻の内の最後の 1～3 枚目につける帯）の印を表面の両端に赤色でつけること。 |

- 5 印刷方式 感熱紙は、UV 印刷方式で印刷すること。（表面検出マーク以外の部分）
- 6 印刷内容 見本のとおり（両面あり）
※見本は昨年度作成したもので、記載内容に変更が生じる場合があります。
- 7 校正 3回以内
正確にカラム位置のわかる帳票を用意すること。
- 8 納入方法 1 巻（150 枚）ごと黒のビニール袋で梱包し、50 巻で 1 箱の段ボールに詰めること。50 巻に満たない分については、段ボールに緩衝材を詰めること。

9 納期、納入枚数、納入場所

(1) 1 回目

①納入期限 令和 7 年 7 月 14 日（月）

②納入枚数及び納入場所等 次のとおり

納品先	納品先住所	連絡先	納入枚数
静岡市上下水道局庁舎 3 階 お客様サービス課	葵区七間町 15 番地の 1	270-9108	5 巻 (750 枚)

※ 1 回目の納入後にモバイルプリンター MP-B30-B02JK1-E9 セイコーインスツルにて中間検査（テスト印字）を行います。2 回目納品時には、中間検査（テスト印字）合格品を納品すること。

(2) 2 回目

①納入期限 令和 7 年 8 月 29 日（金）

②納入枚数及び納入場所等 次のとおり

納品先	納品先住所	連絡先	納入枚数
第一環境株式会社 静岡営業所	駿河区稲川一丁目 8 番 3 号 リエス稲川 1 階	270-8319	8,200 巻 (1,230,000 枚)
第一環境株式会社 静岡営業所清水出張所	清水区辻五丁目 4 番 34 号 大仙第 2 ビル 3 階	395-8624	4,200 巻 (630,000 枚)

10 その他

- (1) 契約代金については、2 回目納入検収後に支払います。
- (2) 決定者は、決定後速やかに以下の担当と協議し、納品までの日程表を提出すること。
- (3) 当仕様書に記載のない事項、その他不明な点は、以下の担当と協議すること。

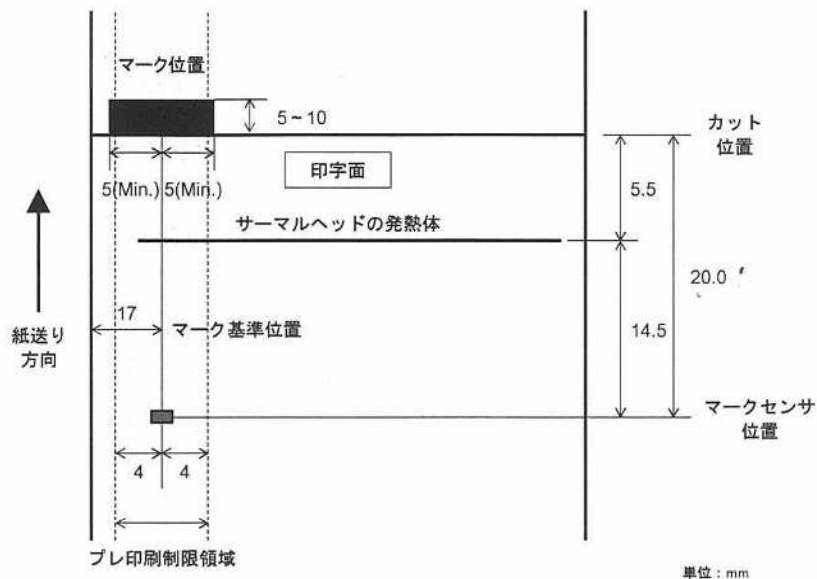
11 担当 静岡市上下水道局お客様サービス課管理係（TEL054-270-9108） 小泉

別紙 検出マークについて

2.2.2 マーク（ペーパー）センサ仕様

本プリンタは、ペーパーセンサをマークセンサとしてマーク検出を行います。
マークセンサは定期的にホコリ、紙粉等のゴミを除去してください。

(1) マーク（ペーパー）センサ仕様



MS21~22（マーク位置補正）が工場出荷時設定の場合

項目	距離
カット位置～マークセンサ位置	20.0 mm
サーマルヘッドの発熱体～ マークセンサ位置	14.5 mm
カット位置～ サーマルヘッドの発熱体	5.5 mm

図 2-4 マークセンサ位置

（注意） ・ マークセンサの検出精度は±1mmです。（MS25（マーク検出しきい値）が工場出荷時設定の場合）

表 2-7 マーク印刷仕様

項目	仕様
印刷面	印字面
マーク印刷位置	紙左側端からマーク基準位置が17mmの位置
マーク幅	マーク基準位置からマーク左右側端までの距離が5mm以上
マーク高さ	5 ～ 10 mm
マーク間隔	290 mm以内（マーク下端から次のマーク下端までの距離）
反射率	6%以下（波長905nmの赤外線の場合）*1
プレ印刷制限領域	マーク基準位置から左右方向に4mmまでの領域は水平罫線を除き濃色によるプレ印刷禁止*1*2

*1: MS25（マーク検出しきい値）が工場出荷時設定の場合。工場出荷時設定以外の値で使用する場合は、十分確認してください。

*2: プレ印刷の反射率（波長905nmの赤外線）が75%以上の場合は、印刷可能です。反射率75%未満の水平罫線を印刷する場合は、罫線の太さを0.5mm以下にしてください。印字時、マークセンサ上を罫線が通過する際に印字速度が低下する場合があります。反射率75%未満の垂直罫線はプレ印刷制限領域には印刷しないでください。プレ印刷された感熱紙を使用する際は、十分に確認してください。